

RESOLUTION

解像度を上げると

社会の仕組みがよく見える。

どうしたら豊かになるのか、

どうしたら地域経済は良くなるのか

どうしたら人々の暮らしは良くなるのか。

その「どうしたら」を解くには

社会を見る目の解像度を上げることが必要だ。

今まで見ていたつもり、

わかつていたつもりになっていたことを

解像度を上げてじっくり見てみよう。

すると、社会の課題や生活の違和感に

びつたりとヒントが合ってくる。

それが解決のヒントになってくる。

佐賀大学の新しい経済学部には

解像度を上げる仕組みがあります。

3学科から

1学科5ユニットの

新しい学びへ。



佐賀大学

経済学部 経済学科 (仮称・設置構想中)

令和9年4月改組予定

経済学部 経済学科 (仮称・設置構想中)



デジタル社会に対応した学びで 社会・企業に求められる人材へ

デジタル化が進むとともにますます成熟化・複雑化していく現在社会の中で、社会や企業が求める人材像も大きく変化しています。そこで、令和9年度から大きく変わる佐賀大学経済学部では、データサイエンス基礎力やプロジェクトマネジメント力を身につけ、社会課題に複眼的に対応できる人材の育成を目指します。

■ 養成する人材像

社会課題の解決に向け、データサイエンスを駆使し、
戦略・政策を立案・実行できる

プロジェクトマネジメント人材

社会科学の思考プロセスを基に
データサイエンス基礎力を兼ね備えた
プロジェクトマネジメント能力により、

社会課題に『解像度』*高く複眼的に対応できる人材

*解像度…社会課題や研究対象をどれだけ深く、細かく理解・認識できるということ

■ 求める学生像

経済や社会で生起している問題を理解するためには社会に対する関心と幅広い基礎知識が必要です。自らの学習活動や取組などを通して、「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

具体的には、次の能力・適性を持つ学生を求めます。

- ① 社会問題に関心を持ちその解決に向けて積極的に学び続けようとする意欲がある学生
- ② 高等学校で修得した知識・技能とこれらを踏まえた基本的な思考力・判断力を持つ学生
- ③ グローバルな視点で情報収集・発信する読解力と表現力を身につけたい学生

POINT 01

社会科学×データサイエンスで、社会課題を解決に導く プロジェクトマネジメント人材を養成します。

経済をはじめとする社会科学の基礎と、今後の社会に求められるデータサイエンスの基礎をしっかりと学びます。その上で、理論と実践を繰り返す多様なカリキュラムを設け、社会課題に複眼的に対応し、解決に導く人材を養成します。

1年次	2年次	3年次	4年次
基本科目 (必修7科目) ●基本統計学 ●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本経済数学 ●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本法学	データサイエンス科目 (データサイエンスの基礎を学ぶ) ●データサイエンス入門 ●経済データ分析実践 ●数理統計学 ●会計学 ●社会調査論 ●経済・統計数学 ●統計学演習 ●計量経済学 など		
	データドリブン科目 (データサイエンスを駆使してより実践的に学ぶ) ●オペレーションズリサーチ ●ロジスティクスマネジメント ●経営財務論 ●行動経済学 ●実証産業組織論 ●地域経済分析 ●ファイナンス論 ●管理会計論 ●計量政治学 ●国際貿易論 ●政策シミュレーション ●労働経済学 など ●マーケティングリサーチ ●空間情報システム ●原価計算論 ●財務会計論 ●政策評価分析		
	プロジェクトデザイン科目 (社会科学における専門的知識を修得し、社会課題への対応能力を養う) ●財政学 ●金融論 ●企業論 ●民法総則 ●知的財産法 など		
社会課題演習 (必修1科目) ●社会課題演習	演習科目 プロジェクトマネジメント演習(ゼミナール) ユニットと連動した少人数制のきめ細やかな指導		
	ユニット 各ユニット指定科目より10科目修得 ■デジタルマネジメント ■政策マネジメント ■エリアマネジメント ■マーケティングマネジメント ■会計・ファイナンスマネジメント		
基礎科目 (必修4科目) ●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●プロジェクトマネジメント ●マーケティング戦略	演習科目：フィールド演習 (プロジェクトマネジメント演習の成果などを外部機関と共同演習として実施)		
	実践科目：企業・団体提供講義 など		
	特殊講義：国際交流実習 など		
	教養教育		

プロジェクトマネジメント人材の輩出
社会課題に対応する調査企画・分析・解釈能力を持った人材

POINT 02

新たな学びの単位「ユニット」を設定。理論と実践を組み合わせ、専門分野を深く学び、社会課題を解決へと導く力を養成します。

『解像度』を上げた学びを実現するために、新たな学びの単位としてユニットを設けます。1年次に社会科学（経済学・経営学・法学）やデータサイエンスの基礎を学んだ上でユニットを選択し、理論と実践を繰り返しながら学びを深め、即戦力となり得る力を養成します。

5つのユニット

社会科学（経済学・経営学・法学）を学びデータを用い、解像度高く社会課題に対応するため、5つのユニットを設定

UNIT 1 デジタルマネジメント

データサイエンスをツールとして社会課題を可視化して分析し、解決策を提示できる力を身につける

UNIT 2 政策マネジメント

グローバル化、雇用問題、食料問題などマクロ経済分析の対象となる社会課題をデータを用いて理解・分析し、解決策を提示できる力を身につける

UNIT 3 エリアマネジメント

人口減少下のまちづくりの諸課題をデータを用いて理解・分析し、解決策を提示できる力を身につける

UNIT 4 マーケティングマネジメント

企業経営・マーケティングや起業などの課題をデータを用いて理解・分析し、解決策を提示できる力を身につける

UNIT 5 会計・ファイナンスマネジメント

社会課題を会計やファイナンスなどの知識を用いて、理解・分析し、解決策を提示できる力を身につける

例 エリアマネジメント ユニット データサイエンスを駆使して「エリアマネジメント」を学ぶ

PLAN 立案の基礎

空間情報システム、地域経済分析などを活かし、見つけた社会問題の解決方法を立案。

DO 開発の実践

マーケティングリサーチやロジスティックマネジメントなどで実践力を養う。

CHECK 開発の評価

政策評価分析などで、立案・実践の評価手法を学ぶ。

ACTION 開発の再評価

演習及びプロジェクトマネジメント演習により社会課題への解像度を高める。

ゼミで実施

POINT 03

学外のリソースを活用。学内での学びをアップデートするとともにより発展的、より実践的な学びを展開します。

すでに経済学部では、多くの企業・団体、行政機関などと連携し、実践的な教育を実施していますが、今後も学外のリソースを多方面から取り入れ、多様な視点での学びを考えています。実際に現場で働く人から社会課題のリアルを聞き、学び、成長に役立てます。

▶ 社会課題演習

「自分の言葉で伝える」学びを繰り返し言語的コミュニケーションを鍛える

多様な問題に対して学外の専門家から講義を受け、その後、学生は内容を自分でまとめ、周囲の学生に説明します。「知識を得る～自分で考える～論理的に伝える」を繰り返すことで言語的コミュニケーション能力を高め、「考える力」とともに「伝える力」も養成します。



連携企業、行政機関、団体など

九州電力、竹下製菓、シャボン玉石けん、日本銀行佐賀事務所、福岡財務局、佐賀市、唐津市、日本政策投資銀行 など

▶ 外部講師による講義

現場の実践的な知識や経験の触れ自分自身の将来に向き合う

企業・団体、行政機関など学外の専門家による講義を行い、第一線で活躍している実践的な知識や経験に触れながら学ぶことができます。卒業生による定期的な交流会を実施し、実社会で働く先輩方の生の声を聴き、自分の将来について考える機会を設けています。



企業・団体、行政機関などとの連携による実践的教育

●野村証券による「証券市場分析」・弁護士会による「市民と法」
●佐賀県経営者協会による「現代の経営」
●佐賀県統計分析課との共催で統計セミナーを実施

▶ フィールド演習 プロジェクトマネジメント演習（ゼミナール）のプレミアムコース

プロジェクトマネジメント演習での学びを実社会で実践する

社会課題の解決に寄与するプロジェクトマネジメント能力を一層高めるため、企業・団体、行政機関などと連携した実践的なフィールドワークを行います。学びで得た知識を実社会にどのように活かすかを探索し、さまざまな課題に取り組むことで、主体的な学びの場を創出します。

連携企業、行政機関等（予定）

●九州経済連合会、NTT西日本、地方自治体（主に九州内）など

※設置計画は予定であり、変更する場合があります。

経済学部は3学科から1学科5ユニットに生まれ変わります。

- 経済学部
 - 経済学科
 - 経営学科
 - 経済法学科



- 経済学部
 - 経済学科

■ ユニット

- デジタルマネジメント
- 政策マネジメント
- エリアマネジメント
- マーケティングマネジメント
- 会計・ファイナンスマネジメント

設置概要

- 名称／経済学部 経済学科(仮称)
- 開設時期／令和9年(2027年)4月
- 入学定員／230名(予定)
- 設置場所／佐賀大学本庄キャンパス

取得できる資格

- 高等学校教諭一種免許状(商業)

類似する学部学科

- 長崎大学経済学部
- 大分大学経済学部
- 山口大学経済学部
- 熊本大学法学部 など

学納金

- 入学料 282,000円
- 授業料 535,800円 (令和7年4月1日現在)

各ユニットにおいて想定される進路

- デジタルマネジメント
→ 民間企業(システムエンジニア)・公務員全般 など
- 政策マネジメント
→ 公務員・商社・コンサルティング会社 など
- エリアマネジメント
→ 地方公務員・インフラ系(通信・交通・エネルギー) など
- マーケティングマネジメント
→ 民間企業・起業 など
- 会計・ファイナンスマネジメント
→ 金融・証券・保険・コンサルティング会社 など

Access



本庄キャンパス

自転車・バス
約15分

JR佐賀駅・佐賀駅バスセンター	電車(特急)	JR博多駅
	約35分	
	西鉄高速バス	天神
	約1時間20分	
	電車(普通)	JR久留米駅
西鉄バス	約1時間	
	約1時間30分	西鉄久留米駅

お問い合わせ

佐賀大学 経済学部

〒840-8502 佐賀市本庄町1
TEL 0952-28-8413

- 教育学部
- 芸術地域デザイン学部
- 医学部
- 理工学部
- 農学部
- コスメティックサイエンス学環